

大野原中学校のたまねぎの植え付け体験を支援

▼発生年月日：2024/1/11

▼執筆者名：甲把 理恵

▼センター名：西讃農業改良普及センター

▼部門分類：総括

▼活動分類：食農業教育・食育

▼公開：公開

▼備考：

▼本文

1) 西讃農業改良普及センターでは、地産地消の推進、地域農業への理解促進を図るため、関係機関と連携し、小中学校での出前授業や収穫体験などの食育活動に取り組んでいます。

2) 1月11日、観音寺市立大野原中学校1、2年生（約170名）を対象に、地元のたまねぎ生産者、笠田高等学校の教員及び生徒、普及センター職員などが参加し、同校が勤労生産学習の一環として実施しているたまねぎの植え付け体験を支援しました。今回、植え付けに使用した苗は、笠田高等学校の生徒が育苗したものです。

3) 勤労生産学習は、大野原中学校近くの14aのほ場で実施されました。普及センター職員からたまねぎの植え付け方の説明を行った後、生徒たちは準備されたセルトレイから苗を引き抜き、笠田高等学校の生徒たちにコツを教してもらいながら次々と植え付けていました。

4) 今回初めての植え付けを経験した1年生からは、「自分で植えてみて、農家の大変さを知ることができた。」、「スーパーなどで買うたまねぎよりも、自分たちで植えたたまねぎを大切にしたいと思った。」、「みんなで気持ちを込めて植えたので、これから大切に育てていきたい。」とたくさんの感想を述べてくれました。

また、「笠田高等学校の先輩が育ててくれた苗についてどう感じますか。」との質問には「苗を作ってくれて感謝している。しっかり育ててみんなで美味しく食べたい。」とのことでした。今回植え付けたたまねぎは、6月中旬頃に収穫することになっています。



普及センターからの植え付け指導



植え付けの様子



笠田高等学校生徒からの指導